

三浦梧楼関係文書（山本四郎旧蔵） 目録

2024年2月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています
国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料（憲政資料室）」
(<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/kensei/>)

凡例

- 本資料群は次のように分けた。1. 書簡、2. 書類、3. 履歴資料等（奇兵隊関係ほか）
- 1. 書簡は、おおむね作成者名の五十音順に配列したが、判読が困難なもの、ヨミが定かでないもの等で一部不規則になっている場合がある。
- 2. 書類には、政治関係のほか、曹洞宗関係、漢詩等を取めた。
- 3. 履歴資料等（奇兵隊関係ほか）は、旧蔵者によって一括で残されていた古文書類のまとまりを維持したものである。
- 推定、補完または付与した書誌事項には〔 〕を適宜付した。
- 目録所載資料の一部については、『明治史料. 第8集 三浦梧楼関係文書』（山本四郎編 明治史料研究連絡会, 1960〈当館請求記号312.1-M4482〉）に翻刻が掲載されている。該当するものには、「複製」の項に「『明治史料. 第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(××)」(括弧内は『明治史料. 第8集 三浦梧楼関係文書』における資料番号)と注記した。

* 本目録は、憲政資料室が藤枝賢治氏に依頼して作成したものである。

目次

三浦梧楼関係文書（山本四郎旧蔵）

- 1. 書簡（資料番号1～83）
- 2. 書類（資料番号84～117）
- 3. 履歴資料等（奇兵隊関係ほか）（資料番号118～127）

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1. 書簡(資料番号1~83)					
1	赤羽四郎書簡 三浦梧楼宛	赤羽四郎	三浦梧楼	〔明治42年〕9月20日	数量 1通 内容 高僧詩選伝等、帰赴まで拝借 記述法 墨書
2	五十部祐道ほか書簡 三浦梧楼宛	〔五十部祐道〕(東福寺退耕庵)・敬冲	三浦梧楼	明治28年12月28日	数量 2通 内容 別書三葉を尊覧奉る 等 付属資料 別書、3枚 記述法 墨書
3	犬養毅書簡 三浦梧楼宛	〔犬養毅〕	観樹(三浦梧楼)	5月1日	数量 1通 内容 荒井達弥君紹介、引見下されば幸甚 記述法 墨書
4	岩崎清蓮書簡 三浦梧楼宛	岩崎清蓮(下野十善会幹事)	三浦観樹(梧楼)	明治28年12月18日	数量 1通 内容 下野十善会は朝夕閣下の健康を祈る 付属資料 (1)仏教四恩和讃、1枚/(2)梵字、1枚 記述法 墨書
5	上田深子書簡 三浦愛子宛	〔上田深子〕	御母上(三浦愛子)	1月20日	数量 1通 内容 安着され何より。当地移転で相談相手が増え喜び。 記述法 墨書 合綴注記 資料番号65と同封
6	上田深子書簡 三浦梧楼宛				
6-1	上田深子書簡 三浦梧楼宛	上田深子	〔三浦梧楼〕	11月12日	数量 1通 内容 御帰朝につきいづれ面会希望。兵吉を一度面会させたい 記述法 墨書
6-2	上田深子書簡 三浦梧楼宛	上田深子	三浦梧楼	11月27日	数量 1通 内容 このたびは面会せず残念、まためでたき頃におめもじ致すべく 記述法 墨書 備考 封筒は11月26日付け
6-3	上田深子書簡 三浦梧楼宛	〔上田深子〕	三浦梧楼	12月12日	数量 1通 内容 滞在中父上様へ面会を得ず残念、一日も早い出獄を祈る 記述法 墨書
7	上田範之輔・児玉左一書簡 三浦梧楼宛	上田範之輔・児玉左一	〔三浦梧楼〕	11月	数量 1通 内容 御見舞の品差出、一助となれば本懐 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
8	上田兵吉書簡 三浦梧楼宛	〔上田兵吉〕	〔三浦梧楼〕	11月23日	数量 1通 内容 御囑命の未定稿を一覧願う。日時確定次第浄書を拝呈 記述法 墨書
9	臼井喜代松書簡 三浦梧楼宛	臼井喜代松	〔三浦梧楼〕	〔明治28年〕12月26日	数量 1通 内容 年末の挨拶 記述法 墨書
10	江木表書簡 野村靖宛	江木表	〔野村靖〕 (内務大臣)	〔明治28年1月30日〕	数量 1通 内容 大臣の命で三浦中将に面会、畔上の懺謝状は自書に非ず、石川素童の指揮 記述法 墨書
11	及川恒昌書簡 三浦梧楼宛	及川恒昌	三浦梧楼	〔明治28年〕12月30日	数量 1通 内容 御見舞。林檎を差上ぐ、小生は十月下旬より出務、再度の転地療養、金鷄勲章等拝受 記述法 墨書
12	大井成元書簡 三浦梧楼書簡				
12-1	大井成元書簡 三浦梧楼書簡	大井成元	〔三浦梧楼〕	〔大正9年〕12月29日	数量 1通 内容 浦塩(ウラジオストク)政治機関改造中にて知多政権と商議しなければ該件の解決困難、久原代表も進んで知多(チタ)に至り極東共和国と商議すべし 記述法 墨書 複製 『明治史料、第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(一〇八)
12-2	大井成元書簡 三浦梧楼書簡	大井成元	〔三浦梧楼〕	大正13年6月13日	数量 1通 内容 立派な内閣が出来、護憲運動から組閣まで適切に進展、政党内閣制の基礎確立。閣下の尽力に感激の至り。 記述法 墨書 複製 『明治史料、第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(五四)
13	大河野岩雄書簡 三浦梧楼宛	大河野岩雄	三浦梧楼	明治28年10月31日	数量 1通 内容 御帰朝のところ不図の災難に驚愕、健康を祈る 記述法 墨書
14	大庭景陽書簡 三浦梧楼宛	大庭景陽	〔三浦梧楼〕	〔明治21年〕7月4日	数量 1通 内容 在京中に知遇を蒙り感謝。東京電報紙上で閣下の御高吟を拝読。 記述法 墨書 備考 朝日新聞社封筒

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
15	賀来宣書簡 三浦梧楼宛	賀来宣	三浦梧楼	明治29年1月2日	数量 1通 内容 新年挨拶。家屋売却、当節は芝新銭座に住居 記述法 墨書 備考 封筒表記は「加来」
16	梶宝順書簡 三浦梧楼宛	梶宝順(仏教会代表者)	三浦梧楼	明治28年10月29日	数量 1通 内容 不測の難で御胸中の痛傷を深察。御健康を祈り白日の期を待望。 記述法 墨書
17	加藤透書簡 三浦虎太郎宛	加藤透	三浦虎太郎	〔明治28年〕10月28日	数量 1通 内容 御義父上の身上誠に遺憾、貴君にビスケット・ジャム送呈、取計らいの判断任す 記述法 墨書
18	楢取素彦書簡 三浦梧楼宛	楢取素彦	三浦梧楼	〔明治28年〕7月16日	数量 1通 内容 朝鮮公使御拜任の由、時節柄苦配なれど今回の御渡韓は帝国のために幸慶 記述法 墨書 複製 『明治史料、第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(七九)
19	川崎三郎書簡 三浦梧楼宛	川崎三郎	〔三浦梧楼〕	〔明治28年〕12月27日	数量 1通 内容 拙著『日清海戦史』を呈す 記述法 墨書
20	日下義諦書簡 三浦梧楼宛				
20-1	日下義諦書簡 三浦梧楼宛	〔日下義諦〕	三浦梧楼	明治29年1月	数量 1通 内容 奉賀新年。千手観音五相成身秘観の写しを添える 記述法 墨書
20-2	日下義諦書簡 三浦梧楼宛	日下義諦	三浦梧楼	〔明治29年〕1月11日	数量 1通 内容 今般、往生伝・秘密安心要集を呈送するので御覧下されたい。戒通師下逝去の事 記述法 墨書
21	久原房之助書簡 三浦梧楼書簡				
21-1	久原房之助書簡 三浦梧楼書簡	久原房之助	三浦梧楼	〔大正8年〕10月12日	数量 1通 内容 長崎旅行より昨日帰宅、不在中お役に立たず残念。原総理・高橋氏よりも手紙参り、一緒に返書差し出す次第 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
21-2	久原房之助書簡 三浦梧楼書簡	久原房之助	〔三浦梧楼〕	〔大正11年〕6月1日	数量 1通 内容 西園寺公が今度目を付けたのは高明氏には非ざる様に思われる 記述法 墨書 複製 『明治史料, 第8集 三浦梧楼関係文書』 翻刻あり (五六)
21-3	久原房之助書簡 三浦梧楼書簡	久原房之助	〔三浦梧楼〕	31日	数量 1通 内容 加藤友三郎氏没後山本権兵衛が出た際、西園寺公は内田外相にあらず田中義一を推された節あり 記述法 墨書 複製 『明治史料, 第8集 三浦梧楼関係文書』 翻刻あり (五〇)
21-4	久原房之助書簡 三浦梧楼書簡	久原房之助	〔三浦梧楼〕	〔大正13年〕1月4日	数量 1通 内容 鮎川より委細承り御同情を賜り感慨の至り、此件は尊台の助けを得て成功の望み 記述法 墨書 複製 『明治史料, 第8集 三浦梧楼関係文書』 翻刻あり (五八)
21-5	久原房之助書簡 三浦梧楼書簡	〔久原房之助〕	〔三浦梧楼〕	2月25日	数量 1通 内容 訪問や手紙無沙汰、ご寛容願う 記述法 墨書
21-6	久原房之助書簡 三浦梧楼書簡	〔久原房之助〕	〔三浦梧楼〕	6月11日	数量 1通 内容 只今沼津まで参ったが気分宜しからず出直す、京都行は時機遅れ失敗、ご寛容願う 記述法 墨書 複製 『明治史料, 第8集 三浦梧楼関係文書』 翻刻あり (五七)
21-7	久原房之助書簡 三浦梧楼書簡	〔久原房之助〕	〔三浦梧楼〕	11月9日	数量 1通 内容 御風気にもかかわらず彼の件早速御連れくださり、御懇志への感謝 記述法 墨書 複製 『明治史料, 第8集 三浦梧楼関係文書』 翻刻あり (五九)
22	倉谷栄吉書簡 三浦梧楼宛	倉谷栄吉(足袋商)	三浦梧楼	明治28年12月29日	数量 1通 内容 此品は軽少なれど御着用になれば満足、御受納されたい 記述法 墨書
23	古野書簡 三浦梧楼宛	古野■■■	三浦梧楼	9月25日	数量 1通 内容 福岡に於いて東京東北九州各県よりの有志者大集会、南米の事業ほか 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
24	小林重文書簡 三浦虎太郎宛	小林重文	三浦虎太郎	〔明治28年〕10月29日	数量 1通 内容 御父君閣下の心労恐察仕る。突然ながら拙書を奉呈 記述法 墨書
25	佐々木多二書簡 三浦梧楼宛	佐々木多二	三浦梧楼	〔明治28年〕1月16日	数量 1通 内容 三浦の使命を帯びた行動に感謝、韓廷への怒りほか 記述法 墨書
26	津田常名書簡 三浦梧楼宛	津田常名	三浦梧楼	〔大正13年〕2月7日	数量 1通 内容 須佐招魂社は義挙殉難者・北越征討戦没者を祀る、閣下の揮毫願う 記述法 墨書
27	品川弥二郎書簡 三浦梧楼宛	やじ(品川弥二郎)	〔三浦梧楼〕	2月23日	数量 1通 内容 旧隊よりの歎願の一件、烏尾和尚も尽力してやるべしとの言葉 記述法 墨書 備考 封筒表書に「九段より」
28	柴四朗書簡 三浦梧楼宛	柴四朗	〔三浦梧楼〕	9月13日	数量 1通 内容 この書持参の人は秋山清八と申す者、御面会を願う 付属資料 秋山清八名刺、1枚 記述法 墨書
29	白井素行書簡 三浦梧楼宛				
29-1	白井素行書簡 三浦梧楼宛	白井素行	三浦梧楼	1月6日	数量 1通 内容 鷄林の事、幽囚大いに天下の疑惑する所。増尾新右衛門なる者をして御見舞、委曲は同人より聞取られ候 記述法 墨書
29-2	白井素行書簡 三浦梧楼宛	白井素行	三浦梧楼	1月27日	数量 1通 内容 1月20日御出監大いに安心 記述法 墨書
30	杉村濬関係書簡・電報				
30-1	杉村濬書簡 三浦梧楼宛	杉村濬	〔三浦梧楼〕	〔明治28年〕10月21日	数量 1通 内容 昨日より外国使臣も入関せざる由、李竣鎔も間違なく出発、英水兵入京、兵を招くは韓人を迷わせ宜しからず 記述法 墨書 複製 『明治史料、第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(一〇五)

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
30-2	〔杉村濬ほか電報綴〕	杉村濬・クガミノル ほか	〔三浦梧楼〕	〔明治28年〕	数量 1綴(4通) 内容 乙未事変等に関する電報 記述法 印刷 複製 うち2通は『明治史料, 第8集 三浦梧楼関係文書』に翻刻あり(一〇六・一〇七)
30-3	杉村濬書簡 三浦梧楼宛	杉村濬	三浦梧楼	〔明治29年〕2月13日	数量 1通 内容 昨年十月の事変、世論が暴挙と英断の如何に傾くか、事情の明るさによる。此際昨年十月前の形勢を発表する方が与論を作る基礎となる 記述法 墨書
31	泉涌寺鼎龍暁書簡 三浦梧楼宛	鼎龍暁(泉涌寺)	三浦梧楼	〔明治28年〕3月24日	数量 1通 内容 曹洞宗事件、閣下の尽力感謝。日清事変、終局まで祈願す。来る桓武天皇千百年記念祭、御来京お待ち申上げる 記述法 墨書
32	高島信茂書簡 三浦梧楼宛	高島信茂	三浦梧楼	〔明治28年〕1月28日	数量 1通 内容 松二郎・三吉の勤学について各教官から報告云々 付属資料 (1)〔三浦松二郎学業性質品行等ノ要旨〕、1綴/(2)報告書(三浦三吉)、1綴/(3)心覚上申(五十部氏)、1綴 記述法 墨書
33	高島信茂書簡 三浦虎太郎宛	高島信茂	三浦虎太郎	〔明治28年10月26日〕	数量 1通 内容 寝具及び三度の食物は申すまでもなく差入 記述法 墨書
34	高島平三郎書簡 三浦梧楼宛	高島平三郎	三浦梧楼	〔明治28年〕1月28日	数量 1通 内容 妻子の近況や南隠老師に碧巖集講義承ったこと等、時季の御見舞 記述法 墨書
35	高見祖厚書簡 三浦梧楼宛	祖厚(高見祖厚)	〔三浦梧楼〕	7月15日	数量 1通 内容 朝鮮御出張、よほど難しい国柄、進退は呉々も考えられたし。揮毫の件梅暁へ渡す 記述法 墨書
36	竹村三郎書簡 三浦梧楼宛	竹村三郎	〔三浦梧楼〕	〔大正13年〕6月13日	数量 1通 内容 三派連立内閣の成立は憲政の一進歩。全く閣下御尽力の結果、謹んで敬意を表す 記述法 墨書 複製 『明治史料, 第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(五五)

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
37	田中義一書簡 三浦梧楼宛	〔田中義一〕	〔三浦梧楼〕	〔大正13年〕2月0日	数量 1通 内容 護憲三派結束はますます堅固。恩給の儀、詳細は別紙 記述法 墨書 備考 前欠 複製 『明治史料、第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(五三)
38	田中正道書簡 三浦梧楼宛	田中正道	三浦観樹(梧楼)	〔明治29年〕1月20日	数量 1通 内容 今日の吉報に逢遇し、閣下のために慶するのみならず帝国のために祝うべき。安全を祈念し、御自重を乞う 記述法 墨書
39	田中光顕書簡 三浦梧楼宛				
39-1	田中光顕書簡 三浦梧楼宛	田中光顕	三浦梧楼	明治28年12月1日	数量 1通 内容 獄中の難儀、遠からず公明の処分あるべし。留守許は異常無し。本日山県令嬢が船越に出嫁 記述法 墨書
39-2	田中光顕書簡 三浦梧楼宛	田中光顕	三浦梧楼	〔明治28年〕12月9日	数量 1通 内容 馬術練習所会員一同より御見舞。留守宅に罷り出で変わりなし、三吉君に出逢う 記述法 墨書
40	棚瀬正義書簡 三浦梧楼宛	棚瀬正義	三浦梧楼	明治29年1月19日	数量 1通 内容 此度の事に関する新聞紙上の評に接し感銘に堪えず、現御境遇における御揮毫のお願い 記述法 墨書
41	附表	珠数屋四郎兵衛	〔三浦梧楼〕(陸軍中将)	明治24年11月	数量 1通 内容 念珠づくりに関すること、納献 記述法 墨書
42	玉園快応書簡 三浦梧楼宛	玉園快応(醍醐寺執事)	三浦梧楼・三浦家執事	〔明治27年〕5月16日	数量 1通 内容 雲龍院古鈴御懇望の趣、名譽の儀につき譲与に決定。執事が持参仕る 記述法 墨書 備考 封筒は5月15日付
43	田村書簡 三浦梧楼宛				
43-1	田村書簡 三浦梧楼宛	田村■■■	〔三浦梧楼〕	〔大正11年〕9月9日	数量 1通 内容 三浦への賞賛、本日小包で献上品を送ること 記述法 墨書 備考 資料番号43-2の差出人署名と同一字形

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
43-2	田村書簡 三浦梧楼宛	(田村)■■■	〔三浦梧楼〕	3月27日	数量 1通 内容 揮毫は長く宝として護持する 記述法 墨書 合綴注記 資料番号65に封入
44	頭山満書簡 三浦梧楼宛	頭山満	三浦梧楼	5月11日	数量 1通 内容 別紙の件差し支えなし、御助力願いたい。書外は末次より御聞取り願う 記述法 墨書
45	鳥居断三書簡 三浦梧楼宛	鳥居断三	三浦梧楼	〔明治28年〕10月25日	数量 1通 内容 今般の一件、進んで弁護の任に当たりたく御承諾願う。追って岡謙蔵に面会されたい、委細同人まで申含め置く 記述法 墨書
46	鳥尾量雄書簡封筒 三浦梧楼宛	鳥尾量雄	三浦梧楼	明治29年	数量 1点 内容 封筒のみ 記述法 墨書
47	中島清九郎書簡 三浦梧楼宛	中島清九郎	三浦梧楼	〔明治28年〕11月20日	数量 1通 内容 漢詩ほか 記述法 墨書 備考 封筒は27日付
48	中島真雄書簡 三浦梧楼宛				
48-1	中島真雄書簡 三浦梧楼宛	中島真雄	叔父(三浦梧楼)・叔母上(三浦愛子)	〔明治19年〕5月6日	数量 2通 内容 病床からの経過報告ほか 付属資料 容体書、1枚 記述法 墨書
48-2	中島真雄書簡 三浦梧楼宛	中島真雄	叔父上(三浦梧楼)・叔母上(三浦愛子)	〔明治29年〕5月13日	数量 1通 内容 マラリヤ、神経痛は快方に向かう 記述法 墨書
49	西有穆山書簡 三浦梧楼宛				
49-1	西有穆山書簡 三浦梧楼宛	西有穆山	三浦観樹(梧楼)	〔明治28年〕3月3日	数量 1通 内容 電信に接し気分爽快、上京の折は拝顔し御礼申上ぐべし 記述法 墨書
49-2	西有穆山書簡 三浦梧楼宛	西有穆山	三浦観樹(梧楼)	〔明治28年〕3月5日	数量 1通 内容 宗務関連(宗局東京設置、役員改選)、当山法要を済ましたこと 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
50	二瓶源五書簡 三浦梧楼宛	二瓶源五	三浦梧楼	〔明治42年〕4月25日	数量 1通 内容 御家族に拝顔、子ども同士が同じ学校。近時の将校の欠点は精神教育等 記述法 墨書
51	野村靖書簡 三浦梧楼宛(空封筒)	野村靖	三浦梧楼		数量 1点
52	蜂谷丈太郎書簡 三浦梧楼宛	蜂谷丈太郎ほか	三浦梧楼	明治28年12月26日	数量 1通 内容 御入監を聞き驚愕、手袋贈呈のこと 記述法 印刷
53	福本書簡 三浦梧楼宛	福本■	伊豆山夫子(三浦梧楼)	〔明治42年〕3月3日	数量 1綴 内容 木堂(犬養毅)除名の一件、早稻田翁(大隈重信)のこと等 記述法 墨書
54	藤井界雄書簡 三浦梧楼宛	藤井界雄	三浦梧楼	12月11日	数量 1通 内容 征清戦死者のため立像弥陀仏を製造 記述法 墨書
55	藤井幸槌書簡 三浦梧楼宛	藤井幸槌	三浦梧楼	〔大正11年〕5月31日	数量 1通 内容 本月に予備役編入、当分は大磯寺内伯爵別荘にて静養 記述法 墨書
56	藤田彦三郎書簡 三浦梧楼宛	藤田彦三郎	三浦梧楼	4月11日	数量 1通 内容 近況、仏道修行のこと 記述法 墨書
57	穂積陳重書簡 三浦梧楼宛	穂積陳重	三浦梧楼	5月9日	数量 1通 内容 拙著『五人組制度論』、貴論を蒙り有難い。御高説は改版の節は紹介したい 記述法 墨書
58	堀江芳介書簡 三浦梧楼宛	堀江芳介	三浦梧楼	〔明治29年〕1月2日	数量 1通 内容 新年の祝詞 記述法 墨書
59	馬島春海書簡 三浦梧楼宛	馬島春海	〔三浦梧楼〕	〔明治28年〕10月18日	数量 1通 内容 朝鮮宮城内の騒擾、変乱は止むことを知らず、大院君の勢力ほか 記述法 墨書 備考 封筒に差戻等の付箋貼付あり
60	股野琢書簡 三浦梧楼宛	股野琢	三浦梧楼	〔大正8年〕3月28日	数量 1通 内容 揮毫の件、他日参堂して御礼申上げる 記述法 墨書
61	三浦愛子書簡 三浦朝子宛				

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
61-1	三浦愛子書簡 三浦朝子宛	母(三浦愛子)	三浦朝子	〔大正4年〕1月17日	数量 1通 内容 昨日は御父様御帰宅、何の心配も無くご安心下されたく 記述法 墨書
61-2	三浦愛子書簡 三浦朝子宛	母(三浦愛子)	三浦朝子	〔大正4年〕1月26日	数量 1通 内容 熱海別荘にて。御父様のもの早速送付 記述法 墨書
61-3	三浦愛子書簡 三浦朝子宛	母(三浦愛子)	三浦朝子	2月27日	数量 1通 内容 5日帰京と御父上様は申す 記述法 墨書
61-4	三浦愛子書簡 三浦朝子宛	母(三浦愛子)	三浦朝子	〔大正6年〕3月6日	数量 1通 内容 14日に帰京してはいかがか御都合について 記述法 墨書
61-5	三浦愛子書簡 三浦朝子宛	母(三浦愛子)	三浦あさ子(朝子)	〔大正7年〕2月9日	数量 1通 内容 熱海別荘にて。昨日輿吉様より見舞書状ほか 記述法 墨書
62	三浦愛子書簡 三浦梧楼宛				
62-1	三浦愛子書簡 三浦梧楼宛	愛(三浦愛子)	旦那様(三浦梧楼)	10月1日	数量 1通 内容 御渡発、御送り物の延引、一昨日南蔵院に 記述法 墨書
62-2	三浦愛子書簡 三浦梧楼宛	愛(三浦愛子)	御主人様(三浦梧楼)	11月28日	数量 1通 内容 当地に参りたいが如何ともし難く誠に残念、大一(梧楼長男)のこと 記述法 墨書
62-3	三浦愛子書簡 三浦梧楼宛	〔三浦愛子〕	〔三浦梧楼〕		数量 1通 内容 この度品々お送りする、無事御帰国をいのる 記述法 墨書 備考 後欠
62-4	三浦愛子書簡 三浦梧楼宛	愛(三浦愛子)	御主人様(三浦梧楼)	1月1日	数量 1通 内容 近況報告 記述法 墨書
62-5	三浦愛子書簡 三浦梧楼宛	愛子(三浦愛子)	御主人様(三浦梧楼)	11月25日	数量 1通 内容 近況報告 記述法 墨書 合綴注記 資料番号65に同封

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
63	三浦梧楼書簡(写) 大隈重信宛	三浦梧楼	大隈重信	〔大正3年〕3月15日	数量 1通 内容 大会招集等、擾乱は酸鼻に耐えず。大言壮語との誹謗を実にせぬよう婆心 記述法 墨書 複製 『明治史料、第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(一六)
64	三浦梧楼書簡 三浦虎太郎宛	父(三浦梧楼)	三浦虎太郎	〔明治28年〕10月28日	数量 1通 内容 此事変は誰人といえども免れ難い、父は毎日母を慰め重大の事件は谷・田中等と相談している 付属資料 高島信茂書簡封筒、1点 記述法 墨書
65	三浦梧楼書簡 三浦松二郎宛	父(三浦梧楼)	三浦松二郎	〔明治44年1月30日〕	数量 1通 内容 今朝此地に到着し泉涌寺・英照皇太后御陵に参拝、23日帰京予定 記述法 墨書
66	三浦梧楼書簡(草稿) 横田千之助宛	観樹(三浦梧楼)	横田千之助	〔大正12年4月〕27日	数量 1通 内容 現内閣倒れ善後策は連立内閣。補欠戦は合同、他は互に尊重。犬養に発議せしめ、高橋を首相に定めたい、加藤も左程反対すまじ 記述法 墨書 複製 『明治史料、第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(五二)
67	三浦松二郎書簡 三浦朝子宛				
67-1	三浦松二郎書簡 三浦朝子宛	三浦松二郎	三浦朝子	〔大正5年〕3月13日	数量 3通 内容 熱海別荘における出来事 記述法 墨書
67-2	三浦松二郎書簡 三浦朝子宛	三浦松二郎	三浦朝子	〔大正5年〕3月16日	数量 1通 内容 熱海別荘にて3月15・16日の出来事、松二郎誕生日など 付属資料 新聞切抜、1枚 記述法 墨書
68	三浦松二郎書簡 三浦梧楼宛				
68-1	三浦松二郎書簡 三浦梧楼宛	三浦松二郎	御父上(三浦梧楼)	8月30日	数量 1通 内容 毎朝父上の写真を拝す。朝鮮国の気候悪く御身お大事に 記述法 墨書
68-2	三浦松二郎書簡 三浦梧楼宛	三浦松二郎	御父上(三浦梧楼)	11月4日	数量 1通 内容 当家一同恙無く暮らしている、母上からの手紙延引、まず私共より見舞差上ぐ 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
68-3	三浦松二郎書簡 三浦梧楼宛	三浦松二郎	御父上(三浦梧楼)	12月2日	数量 1通 内容 当地で皆元気に暮らしている、何とぞ御大切に 記述法 墨書
69	水野錬太郎書簡 三浦梧楼宛	水野錬太郎	三浦梧楼	〔大正11年〕10月24日	数量 1通 内容 満鉄社長は川村竹治内務次官の任用で決着 記述法 墨書
70	村井永太郎書簡 三浦梧楼宛	村井永太郎	三浦梧楼(陸軍中将)	明治28年12月28日	数量 1通 内容 広島監獄にいる三浦への慰問 記述法 墨書
71	森清右衛門書簡 三浦虎太郎宛	森清右衛門	三浦虎太郎	〔明治28年〕11月1日	数量 1通 内容 一昨日大阪で面会し京都で烏尾閣下にも委細の状況を語る、帰京し小石川へ行き実家の尊父来臨ほか 記述法 墨書
72	森田悟由書簡 三浦梧楼宛	森田悟由(永平寺)	三浦観樹(三浦梧楼)	明治28年9月	数量 1通 内容 勝鬘經上中下、仏教字典巻部。自重千萬を祈る 記述法 墨書
73	山縣有朋書簡封筒 三浦梧楼宛	山縣有朋	〔三浦梧楼〕(枢密顧問官)		数量 1点 内容 封筒のみ 記述法 墨書 備考 表書に「報効志士人名録一添」
74	山縣初男書簡 三浦梧楼宛	山縣初男	三浦梧楼	〔大正3年〕11月26日	数量 1通 内容 山東問題の反響、唐繼虞氏の渡日の件、唐繼堯・陸榮廷・岑春煊氏による新政府樹立、借款申込ほか、雲南の状況 記述法 墨書 複製 『明治史料、第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(一一二)
75	横田千之助書簡 三浦梧楼宛				
75-1	横田千之助書簡 三浦梧楼宛	横田千之助	三浦梧楼	〔大正9年〕5月8日	数量 1通 内容 立候補の下野国は多年反対派が県会の大部分を占め関東随一の激烈地。但し小生の選挙区は安全地帯 記述法 墨書
75-2	横田千之助書簡 三浦梧楼宛	横田千之助	三浦梧楼	大正14年1月15日	数量 1通 内容 温灸器の儀、只今製品が無く調製を命じたので一週間位、暫時猶予を下されたい 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
75-3	横田千之助書簡 三浦梧楼宛	横田千之助	三浦梧楼	10月23日	数量 1通 内容 会見した所、西園寺公は三浦に面会を望むとの旨で御報せ。公は本月中は滞京 記述法 墨書
76	吉田庫三書簡 三 浦梧楼宛	吉田庫三	観樹公(三浦 梧楼)	〔大正9年〕7 月20日	数量 1通 内容 帰京の間に参上高教を承りたい 記述法 墨書
77	李家隆介書簡 三 浦梧楼宛	李家隆介	三浦梧楼	大正8年10月4 日	数量 1通 内容 尊邸へ御訪問せず帰京し御宥願う。 山口県下御視察は随伴の気構え、尤も来月に 朝鮮満洲中国方面 記述法 墨書
78	鷲尾量瑞書簡 三 浦梧楼宛	鷲尾量瑞(引 接寺)	三浦観樹(梧 楼)	明治29年1月3 日	数量 1通 内容 揮毫を頂いたことへの感謝、本宗大雲 上人の講義を受けたこと 記述法 墨書
79	渡辺幾治郎書簡 三浦梧楼宛	渡辺幾治郎 (臨時帝室編 修局)	三浦梧楼	〔大正12年〕7 月10日	数量 1通 内容 御談話になった閣下の拝謁は調査の結果、何日とは確定し難し 記述法 墨書
80	良之輔書簡 藤井 一帑宛	良之輔	〔藤井一帑〕	7月1日	数量 1通 内容 維新功労者の履歴取調に関すること 記述法 墨書
81	金允植他書簡 三 浦梧楼宛	金允植・張錫 周・趙義淵・ 俞吉濬	〔三浦梧楼〕	隆熙3(明治42) 年12月7日	数量 1枚 内容 ハルピンの変は弊邦の不幸即ち東洋の 不幸 記述法 墨書 複製 『明治史料、第8集 三浦梧楼関係文 書』翻刻あり(一二二)
82	朝鮮国王書簡 □ シア皇帝宛				
82-1	朝鮮国王書簡 □ シア皇帝宛	〔朝鮮国王〕 (高宗)	〔ロシア皇 帝〕(ニコラ イⅡ世)	開国504(明治2 8)年5月23日	数量 1通 内容 韋貝(ウエーバー)大使は才徳兼備、我 国に久しく留めたい 付属資料 大院君勅旨・密令(写)、1枚 記述法 墨書 備考 封筒表書に「親書扣」 合綴注記 資料番号82-2と同封 複製 『明治史料、第8集 三浦梧楼関係文 書』翻刻あり(八七)

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
82-2	朝鮮国王書簡 □ シア皇帝宛	〔朝鮮国王〕 (高宗)	〔ロシア皇帝〕(ニコライ二世)	〔開国504(明治28)年〕閏5月29日	数量 1通 内容 韋貝(ウェーバー)大使のメキシコ移駐の件 記述法 墨書 合綴注記 資料番号82-1と同封 複製 『明治史料. 第8集 三浦梧楼関係文書』翻刻あり(八八)
83	その他書簡(差出人不明等)				
83-1	品之允書簡 三浦梧楼宛	品之允(有地品之允)	〔三浦梧楼〕	2月27日	数量 1通 内容 履歴書の義、海軍省にある分丈け別紙写し差出、此の余は取調べ出来兼ねる 記述法 墨書
83-2	差出人不明書簡 三浦梧楼宛	定	〔三浦梧楼〕	7月10日	数量 1通 内容 肋膜炎にかかり病床にいること 記述法 墨書 合綴注記 資料番号65に同封

2. 書類(資料番号84~117)

84	〔勲章証明書草稿〕	テオドール・フォン・ホルレーベン(独逸帝国特命全権公使)		1886年12月	数量 1枚 内容 1884年11月3日付け勲記に「ミウラゾウロク」と記載は正しく三浦である事を証明 記述法 墨書 用紙 外務省用箋
85	清国征討策案趣旨書	〔参謀本部〕		明治20年2月	数量 1綴 内容 彼我形勢、作戦計画、善後処置 記述法 墨書 用紙 参謀本部用箋
86	〔進退伺〕	三浦梧楼(学習院長)	土方久元(宮内大臣)	明治22年6月	数量 1枚 内容 21年度の学習院予算に不足を生じた経緯説明と不行届の進退伺 記述法 墨書 備考 6月27日付け宮内大臣回答の朱書あり
87	〔覚書〕	〔臨時帝室編修局〕		明治22年9月26日~10月6日	数量 1綴 内容 侍従目録、谷干城日記、新聞記事等における三浦の拝謁に関する記述 記述法 墨書 用紙 臨時帝室編修局用箋
88	〔感謝状〕	柳原前光(賞勲局総裁)・大給恒(賞勲局副総裁)		明治23年7月1日	数量 1枚 内容 東京都麹町区柵町小学校建築費の寄付 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
89	〔両山協議員決定事項〕	吉川		明治28年1月20日	数量 1枚 内容 総持寺執事解任、曹洞宗宗務局開局ほか 記述法 墨書 備考 押印多数あり
90	一月廿九日決議	吉川ほか		〔明治28年〕1月29日	数量 1枚 内容 宗内僧侶処分は来る2月15日以内に赦免令を発布する事 記述法 墨書 備考 連名の押印複数あり
91	議定書	曹洞宗務局			数量 1枚 内容 永平寺貫首森田悟由及び総持寺貫首畔上棋仙の協議決定4箇条 記述法 墨書 用紙 曹洞宗務局用箋
92	差入品願	大河野岩雄	広島県典獄	明治28年10月31日	数量 1枚 内容 三浦に書面等を差入れたく願上げ 記述法 墨書
93	奉送三浦將軍渡韓用高作韻	馬島春海	三浦梧楼	〔明治28年〕	数量 1枚 内容 三浦の渡韓に際して高覽に供す 付属資料 慰藉恭賦、1枚 記述法 墨書
94	〔覚書〕				数量 1枚 内容 宗門経綸方法の小会等について 記述法 墨書
95	〔三浦梧楼履歴〕			〔明治28年〕	数量 1綴 内容 明治3年任官から28年10月朝鮮公使被免までの履歴 記述法 墨書
96	宗制追加按 (写)				数量 1綴 内容 曹洞宗非常法規、平和方案手続 記述法 墨書 用紙 内務省用箋 備考 草稿
97	〔名刺〕	佐藤潤象(朝鮮国農商工部衙門)	三浦梧楼	明治29年1月1日	数量 1枚 内容 謹賀新年 記述法 印刷
98	遺墨	敬冲	〔三浦梧楼〕	辛丑歳(明治34年)	数量 1枚 内容 漢文 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
99	〔漢文〕				数量 1枚 内容 種族と種族相争云々 記述法 墨書
100	〔見舞〕	牧野伸顕(宮内大臣)	三浦梧楼(陸軍中将)	大正14年3月16日	数量 1枚 内容 病気に際し天皇皇后両陛下より御菓子下賜申入 記述法 墨書
101	〔メモ〕				数量 1枚 内容 教育勅語等 記述法 墨書
102	〔曹洞宗関係書付〕			12月18日	数量 1枚 内容 川柳 記述法 墨書 備考 封筒裏に「慶徳寺戒師…」とあり
103	送(全権公使三浦君赴朝鮮国)	永平悟由(森田悟由)		〔明治28年〕	数量 1枚 内容 朝鮮赴任に対する漢文 付属資料 包紙、1枚 記述法 墨書
104	〔漢詩〕			乙未(明治28年)	数量 1枚 内容 漢詩5首 記述法 墨書
105	〔漢文〕			明治41年	数量 1枚 内容 漢詩か 記述法 墨書
106	〔漢詩〕	(1)琢(股野琢)／(2)藍田(股野琢)		大正7年2月	数量 2枚 内容 漢詩2首。熱海にて 記述法 墨書
107	〔漢文〕	須永元		乙丑(大正14年)2月5日	数量 1綴 内容 望月龍太郎・佐瀬熊鉄が熱海にて観樹将軍に謁 付属資料 別紙、1枚 記述法 墨書
108	〔漢詩〕	〔三浦梧楼〕		3月	数量 1枚 内容 発病時の漢詩2首 記述法 墨書
109	〔漢文〕	正宗山洞春寺	〔三浦梧楼〕		数量 1枚 内容 将軍の心得ほか 記述法 墨書
110	〔漢文〕				数量 1綴 内容 梁昭明太子撰席 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
111	〔墨書〕	龍澤栄山			数量 1枚 内容 始芳草逐落花回 記述法 墨書
112	〔漢文〕				数量 1枚 内容 仏教関係の備忘録 記述法 墨書
113	〔墨蹟写し〕	廷俊(用章廷俊)			数量 1枚 内容 石頭山上・から始まる漢文。元代(至正25年4月7日)の墨蹟の写しとみられる 記述法 墨書
114	〔漢詩〕	藍田琢(股野琢)			数量 1枚 内容 観樹に呈された漢詩 記述法 墨書
115	〔墨書〕	真			数量 2枚 記述法 墨書
116	〔仏教関係綴〕	〔三浦梧楼〕			数量 1綴 内容 一切世間有為の諸法は皆無常にして常住不変の物は無い 記述法 墨書
117	〔漢詩〕	升允			数量 1枚 内容 河湟道中予作絶命詞 記述法 墨書

**3. 履歴資料等
(奇兵隊関係ほか)
(資料番号118~127)**

118	〔空封筒〕				数量 1枚 記述法 墨書 備考 表書に「積年兵隊功労者人名」
119	維新功労者調査資料				
119-1	維新之際功労者履歴進達之件	三浦梧楼・三好重臣・山縣有朋	秋山恕卿(山口県知事)	明治31年6月	数量 2枚 内容 内務省布達に基づき国事功労者・奇兵隊の履歴を進達 記述法 墨書 備考 草稿及び清書
119-2	維新ノ際功労者人名			〔明治31年6月〕	数量 1綴 内容 長州藩の維新功労者一覧 記述法 墨書 用紙 山口県用箋 備考 資料番号119-1の付属資料

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
119-3	〔旧奇兵隊関係者一覧〕			〔明治31年6月〕	数量 3綴 内容 奇兵隊関係者の人名等 記述法 墨書 用紙 歩兵第四旅団用箋ほか 備考 資料番号119-1の付属資料
119-4	〔履歴収集資料〕				数量 7枚 内容 履歴材料無し of 者ほか 記述法 墨書 備考 資料番号119-1の付属資料 合綴注記 元は1綴だった形跡あり
119-5	〔関係者一覧〕				数量 1綴 内容 等級別の人名一覧 記述法 墨書 備考 資料番号119-1の付属資料
120	〔維新功労者履歴綴〕	三浦梧楼・三好重臣・山縣有朋	秋山恕卿(山口県知事)	明治31年	数量 1綴 内容 山口藩奇兵隊関係者の履歴等 記述法 墨書
121	〔履歴資料ほか綴〕			明治31年	数量 1綴 内容 旧奇兵隊関係者等の履歴資料ほか 記述法 墨書
122	〔履歴資料ほか綴〕				数量 1綴 内容 山口県(長州藩)関係者の履歴資料ほか 記述法 墨書
123	奇兵隊功労者人名			〔明治30年10月30日〕	数量 1綴 内容 等級別の人名一覧。資料番号119-5の清書版か 記述法 墨書
124	〔調書(写)〕				数量 1枚 内容 南野一郎は従六位に叙されたが当人の功労を対照すれば三等・従五位が相当 記述法 印刷(電子式複写)
125	〔履歴資料〕				数量 1綴 内容 山口県士族石田鼎三の履歴(明治元年～13年没) 記述法 鉛筆 用紙 海軍用箋
126	維新功労者履歴				数量 1綴 内容 奇兵隊関係者の履歴。資料番号119等の内容の清書版か 記述法 墨書
127	落葉簿			明治45年	数量 1綴 内容 文物の目録とみられる 記述法 墨書